

外国人材介護セミナー（ZOOM）

「介護の特定技能の入国制限時期の予測と日本語能力の向上方策」

令和10年（2029年）3月までの、特定技能介護の入国者数の上限は、12万6,900人です。
一方、入国者数は、年々増加し、近々上限に達する可能性があり、その後は入国許可が出なくなります。

セミナーの第1部では「特定技能介護の上限到達に関する考察」を報告します。

対策の一つは、外国人材が、在留資格「介護」を取得し、帰国による人員減を緩和することです。
第2部では、介護福祉士を目指す日本語教育につき、一般社団法人アジアヒューマンサポートセンターのリモート式日本語教育を例に解説します。

日時 2026年7月17日（金）13:00～14:30

主催 外国人材拡大プレイス

共催 全国社会福祉法人経営者協議会

参加費 無料

プログラム

第1部 特定技能分野別受け入れ上限枠の動向（30分程度）

外国人材拡大プレイス 近藤麻紀子

講演資料

※政府公表データを基に報告いたしますが、公表データには今後に関するデータは含まれません。

したがって、今後の予測に関することからつきましてはさまざまな情報をもとに整理し仮説として報告させていただく予定です。

この意味で、今後に関することからは報告者の見解であり、その内容を保証するものではありません。予めご了承ください。

第2部 介護福祉士試験の日本語能力による合格状況の考察（1時間程度）

（一社）アジアヒューマンサポートセンター みんなDE日本語講習会 講座責任者 近藤潤一

講演資料

※当日の演題名とは異なることがあります。

司会 門廣 繁幸 外国人材拡大プレイス